

明道クラブだより

第1号

令和元年

6月19日発行

小学校 と 家庭 と 地域 を結ぶ



明道クラブだより

田植えも終わり、通学路から見える田んぼには、植えられた苗が日に日生長している様子がわかります。用水路をのぞき込む子どもたちは魚の泳ぐ姿にうきうきして、学校から帰ったら「魚をとりにこよう」などと友だちと話している様子が目にうかびます。

梅雨の季節を迎え、私たちにはうっとおしい時期ですが、苗にとってはうれしい季節なのかもしれません。

さて、栗野地区の皆様におかれましてはお元気にお過ごしのこととお喜び申し上げます。日頃より保護者の方々を始め地域の皆様には、地域を舞台に体験学習や学習ボランティアとして本校の教育活動にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

元号は令和となり、新しい時代を予感させます。教育界においては学校の目的を達成するために、家庭や地域社会との連携と協働が益々求められています。これからも学校では高齢者や異年齢の子どもたちなど、地域において世代を超えた交流の機会を設けていきたいと考えています。令和元年度もよろしくお願いいたします。

※明道クラブとは旧栗一小が昔「明道舎」と言われていたことから名付けました。

地域の皆様、学習ボランティアの皆様ありがとうございました

4月からの活動を紹介します。

もみたねまき (4/25)



5年生の総合的な学習の授業で、もみ種まきを行いました。葉の農家杵子様に来校していただき、良い苗に育てるために、もみ種まきのコツを教えてくださいました。これから5年生は稲を育てていきます。ぐんぐん伸びていく苗には命があり、大事に育てていくことを学びました。

5年生ふるさと森林学習 (5/24)

同じく5年生の総合的な学習、「ふるさと森林学習」で、入栗野の奥にある森林を見学させていただきました。栗野小学校に使われている木材が切り出された山を見て、自分たちの学校は地域の木材を使って建てられたことを実感したようでした。また、林業の仕事を体験したり、機械に触らせてもらったりして林業に携わる人たちの努力が分かったのではないかと思います。



栗野小に使われた木材が切り出された山を前に説明を聞いたり、材木を積み上げる機械に乗せていただいたり、林業の仕事を垣間見ることができました。

21世紀林業創造の森の職員の方々ありがとうございました

田植え (5/31)

杵子様の葉の水田で田植えを行いました。今年も田植えのお手伝いということで地区の敬老会の方たちにご協力をお願いしました。今年は10名の協力者を得て予定どおり無事植えることができました。子どもたちは初めての経験に、ぬかるみに足をとられながら杵子様から言われたことに注意して植えていました。特に苗は4本で植えること、目安のひもに合わせて植えることなどかなり気を遣って植えていました。近くにいるお年寄りの植え方を見ながら一所懸命取り組んでいました。苗が大きく育ったら次は稲刈りです。収穫感謝会では田植えにご協力をいただいた皆様をご招待しますので、子どもたちと楽しいひとときが過ごせたらうれしいです。杵子様をはじめ、地区の敬老会の皆様ありがとうございました。



田植え前の腹ごしらえ。杵子様の奥様が作られた「お赤飯」と「つけもの」です。あまりのおいしさに、すべてたいらげてしまいました。これで田植えができるぞ～。



5年生は初めての田植え。足をとられないように歩きます。敬老会の皆様に教えていただきながら苗をうえました。

このように地域の方々とふれあうことや体験、見学等は子どもたちにとっては新しい発見の場であり、新鮮な学びの場となっております。学校では地域の皆様に支えられて教育活動を行っております。今年度も様々な取り組みをお伝えしていきたいと思っております。

お知らせ

★次の号では4年生の社会「久保田堀」の学習の様子をお伝えします。

★6月28日(金)栗野コミセンとの共催で「平野早矢香さんのお母さん」の講演会があります。

・開始時間 午後2時～3時45分・場所 栗野小学校 つつじっ子ルーム。